

## 「高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズグランプリ」 開会式で着用促進用ヘルメットを贈呈

一般社団法人日本損害保険協会九州支部委員会(委員長：大塚 竜二 東京海上日動火災保険株式会社専務執行役員)は、7月15日(月)に福岡県警本部で開催された「高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズグランプリ」開会式に出席し、当支部 山本 周 事務局長を含め後援団体代表者から高校生の代表に自転車ヘルメットを贈呈しました。

この「リーダーズグランプリ」は高校生自身が自転車ヘルメットの正しい着用方法を実践し、周囲の高校生の模範となって着用促進活動を行うことで一層の交通安全を図ることを目的として福岡県警察および福岡県交通安全協会主催が取り組み、当会も後援しています。

今回の開会式では、全参加校30校のうち23校から約70名の高校生「リーダーズ」が集まり、福岡県警察本部交通部 藤木 信司 部長から「周囲への自転車ヘルメット着用促進にあたって、高校生の自由な発想で積極的に取り組んでほしい」とご挨拶があり、同 中山 隆裕交通企画課長から代表者に任命書が手渡されました。

「リーダーズグランプリ」では、高校生「リーダーズ」計144名が12月末までグループに分かれて実施するヘルメット着用促進の活動を審査し、成果が顕著なグループを2025年2月に表彰します。

福岡県の高校生の自転車ヘルメット着用率は3.5%にとどまっています。福岡県警をはじめ後援団体では、同活動を通じて高校生をはじめ福岡県民の着用率の向上に期待しています。

なお、当支部では、引き続き、2023年4月の道路交通法改正により、努力義務化された自転車ヘルメットの着用の周知を含めた交通事故防止啓発活動に取り組んでまいります。



福岡県警藤木部長による挨拶



当支部山本事務局長のヘルメット贈呈



リーダーズ集合写真



協会から贈呈されたヘルメット